

# 経営比較分析表（平成30年度決算）

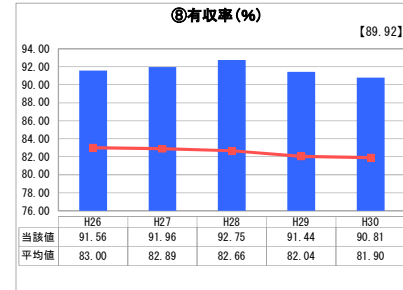
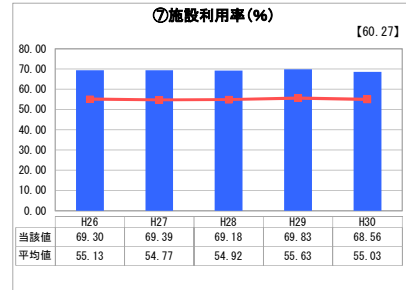
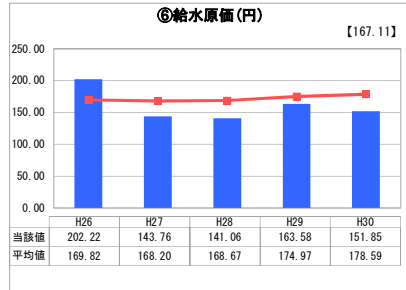
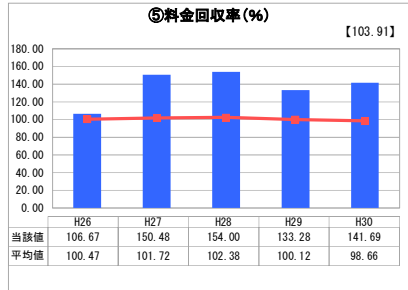
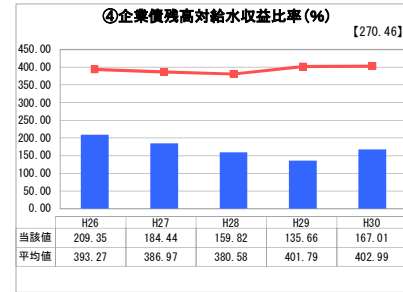
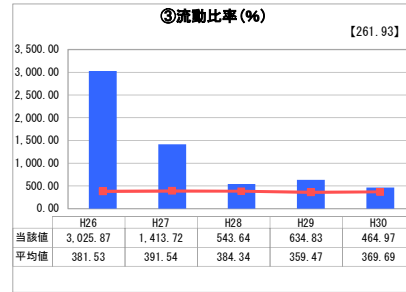
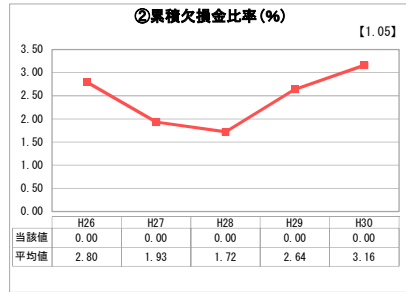
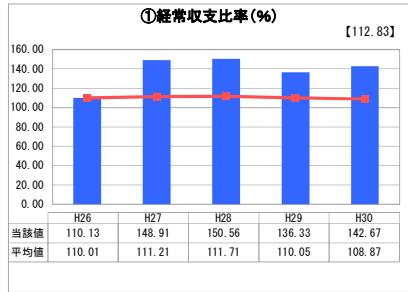
千葉県 酒々井町

| 業務名       | 業種名         | 事業名    | 類似団区分                          | 管理者の情報 |
|-----------|-------------|--------|--------------------------------|--------|
| 法適用       | 水道事業        | 末端給水事業 | A6                             | 非設置    |
| 資金不足比率(%) | 自己資本構成比率(%) | 普及率(%) | 1か月20m <sup>3</sup> 当たり家産料金(円) |        |
| -         | 82.61       | 93.26  | 3,240                          |        |

| 人口(人)     | 面積(km <sup>2</sup> )     | 人口密度(人/km <sup>2</sup> )   |
|-----------|--------------------------|----------------------------|
| 20,830    | 19.01                    | 1,095.74                   |
| 現在給水人口(人) | 給水区域面積(km <sup>2</sup> ) | 給水人口密度(人/km <sup>2</sup> ) |
| 19,244    | 17.18                    | 1,120.14                   |

| グラフ凡例          |
|----------------|
| ■ 当該団体値(当該値)   |
| — 類似団体平均値(平均値) |
| 【】 平成30年度全国平均  |

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

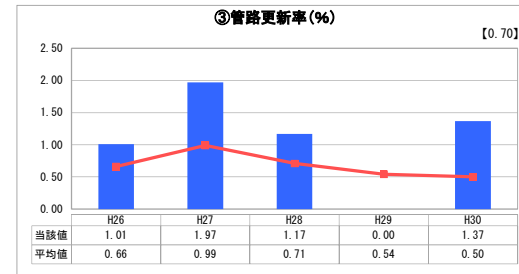
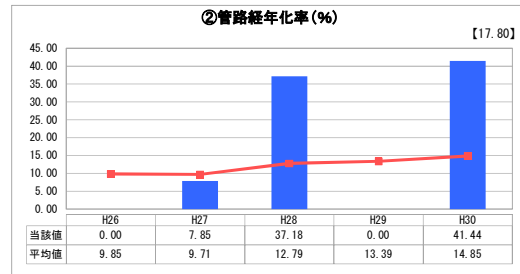
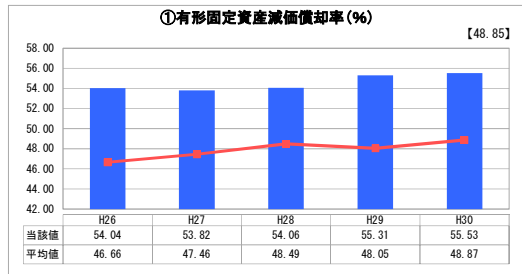
### 1. 経営の健全性・効率性について

「経常収支比率」「料金回収率」「有収率」など、全国平均に比べ良い数値で推移しており、「累積欠損金」も発生しておらず、経営の健全性や効率性について、良好な水準にある。  
今後、人口減少等により、収益の伸びが期待できなくなると考えられることから、より効率的な経営をしていかなければならないと思われる。

### 2. 老朽化の状況について

昭和40年代後半から昭和50年代の宅地開発に伴い布設した管の老朽化が進み、耐用年数を迎えることになる。  
今後、新たな開発等は見込めず、主に老朽管の更新や耐震化工事を進めていくことになる。

## 2. 老朽化の状況



## 全体総括

現時点で、経営状況は健全な状況にあると言える。しかし、少子高齢化により給水量の増加は期待できず、収益の伸びは鈍くなるものと考えられる。  
一方、管路等の老朽化が進み、修繕や更新工事費が増加するものと思われる。  
今後は、水道ビジョンに基づき、中長期的な経営や施設の更新等を展開していかなければならない。